

Panasonic

取扱説明書

IC レコーダー

品番 **RR-US310**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（P41 ～ 44）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

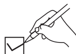
パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。(P50)

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2012

VQT4R63
M1212KZ0

付属品の確認



□単 4 形アルカリ乾電池：1 本

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

本機の楽しみかた

録音する　授業や講演会で

再生して聴く　スピーカーで　インサイドホンで

・MP3 音楽ファイルの再生
・語学学習に便利なシャドーイング再生
・お好みの音質で再生する（ノイズキャンセル、コーラス再生）

パソコンと接続する

・録音ファイルや音楽ファイルの移動や整理

タイマーで録音する

・指定した時刻から録音を開始

目次

準備

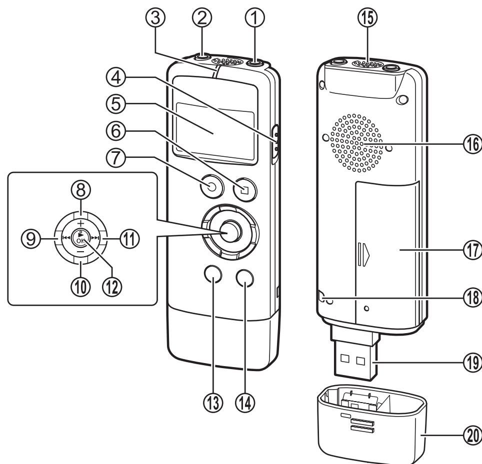
基本

応用

パソコン

その他

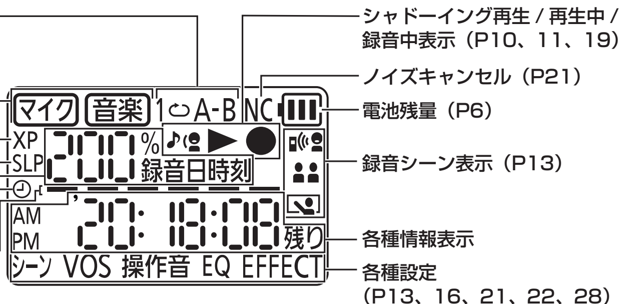
各部の名前



① 外部マイク端子（ ）
② インサイドホン端子（ ）
③ 録音ランプ / 動作表示ランプ
④ 電源 / ホールドスイッチ
⑤ LCD 表示部
⑥ ■ 停止 / 戻るボタン
⑦ ● 録音ボタン
⑧ ＋（音量）ボタン
⑨ ⏮（早戻し）ボタン
⑩ ー（音量）ボタン
⑪ ⏭（早送り）ボタン
⑫ ► OK（再生）ボタン
⑬ メニュー / フォルダボタン
⑭ 消去 / A-B⭯（リピートモード）ボタン
⑮ 内蔵モノラルマイク
⑯ 内蔵スピーカー
⑰ 電池ふた
⑱ ストラップ取り付け穴
⑲ USB 端子
⑳ USB 端子ふた

画面表示について

画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。



繰り返し再生 /A-B リピート再生表示（P18、20）

フォルダの種類（P9）※

録音音質表示（P14）

各種情報表示

タイマー予約表示（P17）

レベルメーター

・録音している音源の音量、再生位置、停止時の録音残り時間、音量の設定時などに表示されます。

シャドーイング再生 / 再生中 / 録音中表示（P10、11、19）

ノイズキャンセル（P21）

電池残量（P6）

録音シーン表示（P13）

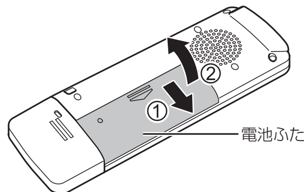
各種情報表示

各種設定（P13、16、21、22、28）

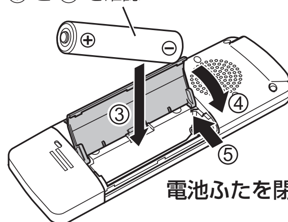
※パソコンでは“MIC、MUSIC”フォルダーと表示されます。
本書では、本機の操作を主体とする内容では“マイク、音楽”フォルダと表記し、パソコンで操作や確認が必要な内容では“MIC、MUSIC”フォルダーと表記します。（P30、31）

電池を入れる

電池ふたを開ける（① ②）



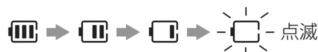
単４形アルカリ乾電池(１本)
⊕ と ⊖ を確認！



電池ふたを閉める（④ ⑤）

● 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
● 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。

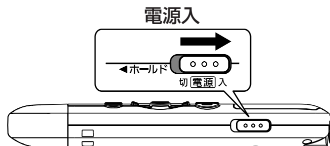


● 電池残量がなくなると“□”が点滅します。
お早めに電池を交換してください。
● 電池が切れると、“Lo bAT”と表示されたあと、自動で電源が切れます。
● 電池の状態や使用する動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
● ファイル消去やフォーマット（P12）、ファイル分割（P25）の実行時は電池残量が必要です。電池残量表示が“□”(点滅) のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源 OFF になります。
● **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  ・電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

初めて電池を入れたときや電池交換したときは、時計の設定を行ってください。（P8）

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチ：



電源を入れる：

電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切る：

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせます。

オートパワーオフについて：

停止状態で 30 分間経過すると自動的に電源が切れます。電源 / ホールドスイッチが［入］の状態で電源が切れている場合に再び電源を入れるには、電源 / ホールドスイッチを [切] 側にスライドさせてから電源を入れてください。

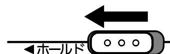
初めて電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P8）

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド機能を使う：

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側にスライドさせます。
“On HOLd”が表示されてホールド機能が働きます。



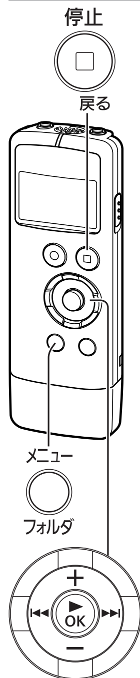
ホールド機能を解除する：

電源 / ホールドスイッチを［ホールド］と反対側にスライドさせます。
“OFF HOLd”が表示されてホールド機能が解除されます。



- ホールド中は、電源が入った状態でも、ボタン操作を受け付けない（“On HOLd”が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。
- ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

時計を合わせる



時計はファイル名（P31）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。電池を交換したときは、日時設定が必要です。

- 電源を入れておく。(P7)

- お買い上げ後、初めて電源を入れた場合や電池を交換した場合は、手順 ❸ へ進んでください。

❶ ［メニュー / フォルダ］を押す

❷ ⏮、⏭ で“日時刻”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、− で“yy”（年）を設定し、⏭ を押す



- 西暦の下 2 桁に設定してください。（2013 年なら「13」）

❹ ＋、− で“MM”（月）を設定し、⏭ を押す

❺ ＋、− で“dd”（日）を設定し、⏭ を押す

- 前の設定項目に戻るには、⏮ を押します。

❻ ＋、− で時刻表示方法を選び、⏭ を押す

24 時間表示は“24h”、
12 時間表示は“12h”を選択します。

- 点滅している項目が、選んでいる表示方法です。

❼ ＋、− で時間を設定し、⏭ を押す

❽ ＋、− で分を設定する

設定を変更するには、⏮、⏭ で項目を移動し、再度 ＋、− で設定してください。

❾ ［▶ OK］で決定する

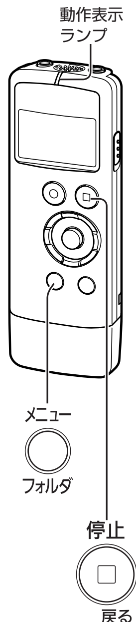
- 日時が設定され、時計動作を開始します。

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

設定した日時を表示する：

「再生する」（P11）の「ファイルの選択」をご覧ください。

● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
● 電池が消耗し切った状態になると、時計動作は停止します。



ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- マイク録音用の“マイク”フォルダ
- 音楽用の“音楽”フォルダ

“マイク”フォルダに最大 199 ファイルまで録音できます。
他機器から録音した場合も“マイク”フォルダにファイルが保存されます。（P27）

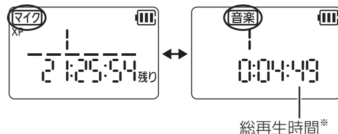
● 本機の電源を入れたあと、初めて“音楽”フォルダを選択すると、動作表示ランプが点滅し、画面に“CHECK”と表示されます。

フォルダを選択する

- 停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

❶ ［メニュー / フォルダ］を約 1 秒以上押したままにする

押すたびにフォルダが切り替わります。

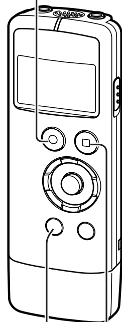


※“音楽”フォルダにファイルを転送していない場合は、現在時刻が表示されます。

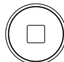
準備

録音する





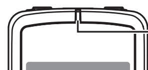




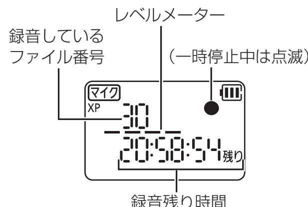
- 電源を入れておく。（P7）
- 停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

❶［● 録音］を押す（録音開始）

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開

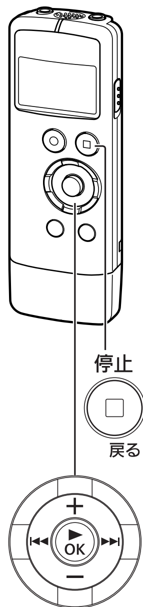


- 録音中または録音一時停止中に［メニュー / フォルダ］を押すと、録音残り時間表示と録音経過時間表示が切り替わります。



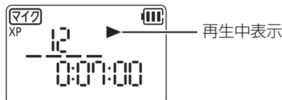
停止する：［■ 停止 / 戻る］を押す

- 録音の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- 内蔵メモリーの使用状況によっては、録音時に音とびが発生することがあります。一度フォーマット（P12）してから録音することをおすすめします。
- **録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。**



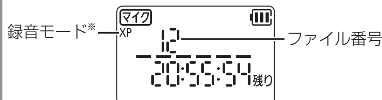
- 停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。
- フォルダを選択しておく。（P9）
- ファイルを選択しておく。（下記）

❶［▶ OK］を押す（再生開始）



ファイルの選択

⏮、⏭ で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。



情報表示について

［■ 停止 / 戻る］を押すたびに、以下の表示内容に切り替わります。

録音残り時間 / 総再生時間（選択ファイルの長さ）/ 現在時刻 / 日付 / 録音時刻※ / 録音日※ / “STEREO”※（ステレオのファイルの場合に表示)

※“音楽”フォルダでは表示されません。

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：ー を押す

0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は“12”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

再生中の操作

とび越し（スキップ）：

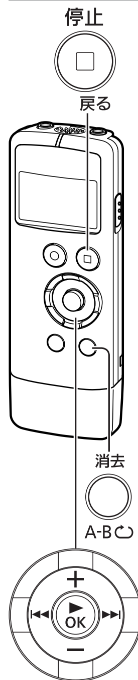
⏮、⏭ を押す。
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 2 秒以内に ⏮ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：

⏮、⏭ を押したままにする。

停止する：［■ 停止 / 戻る］を押す。

ファイルを消去する / フォーマットする



不要なファイルを消去します。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。
- 消去したいファイルまたはフォルダを選択しておく。(P9、11)

消去方法は 3 種類あります。

FILE: ファイルを1つだけ選んで消去します。

FOLdER: 選択したフォルダ内の全ファイルを消去します。(サブフォルダー内のファイルやフォルダ自体は消去できません。)

ALL ERASE: 内蔵メモリー内の全ファイルおよびパソコン接続時に表示されるフォルダー内のデータなど**すべてのデータを消去します。**

❶ [消去 / A-B] を押す

- キャンセルするには、もう一度 [消去 / A-B] または [■ 停止 / 戻る] を押します。

❷ ⏮、⏭ で消去方法を選び、[▶ OK] で決定する

- ファイルを 1 つだけ消去したいときに誤って、"FOLdER" や "ALL ERASE" を選択しないようによく確認して選んでください。

❸ ⏮、⏭ で "YES" を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は動作表示ランプが点滅します。消去の完了までに数分かかる場合があります。

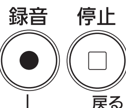
- "OK" と表示されたら、消去またはフォーマットの完了です。
- "no" を選ぶと消去またはフォーマットを中止します。

フォーマットする

手順 ❷ で "ALL ERASE" を選ぶ

- 消去すると元に戻すことはできません。
- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマット中、取り消しはできません。
- 消去の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- フォーマット中に、電池を抜かないでください。
- ファイル消去 "FILE" およびフォルダ消去 "FOLdER" では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。ただし、パソコンから転送した読み取り専用の音楽ファイルなどは本機では消去できません。パソコンで削除してください。(P29)
- ファイル消去 "FILE" 後、ファイルの順番は前詰めされます。

録音シーンを選択する（録音シーンセレクト）



本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで手軽に録音することができます。

・停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

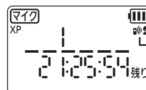
❶［メニュー / フォルダ］を押す

❷⏮、⏭ で“シーン”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“USER”）



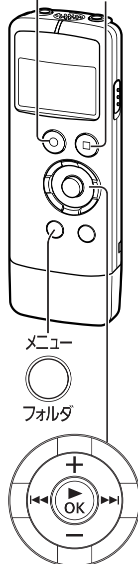
❸＋、－ で録音シーンを選び、［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［■ 停止 / 戻る］を押す。



選択した録音シーンが表示されます。

［● 録音］を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。



■録音シーンの設定値

録音シーン（用途）／設定項目	おけいこ	会話	講義
	発音練習など自分の声の録音に。	インタビューや会話など声の録音に。	教室での講義などの音の録音に。
音質（録音モード）(P14)	XP：192 kbps	LP：96 kbps	XP：192 kbps
マイク感度（P15）	HI（高）	LO（低）	HI（高）
Low Cutフィルタ(P15)	OFF	ON	ON

● 録音シーンを使わない場合は、自動で“USER”が選択されます。「音質、マイク感度、Low Cut フィルタ」の設定値を変更すると“USER”に上書きされます。

● 録音シーンを選択しても、「音質、マイク感度、Low Cut フィルタ」の設定値を変更すると録音シーンは解除され“USER”に上書きされます。録音シーンの表示は消えます。

基本

応用

音質（録音モード）を切り替える

停止

戻る

メニュー

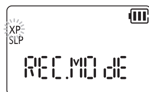
フォルダ

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質を選ぶことができます。

・停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / フォルダ] を押す

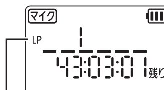
❷ ⏮、⏭ で "REC.MOdE" を選び、[▶ OK] で決定する



❸ ＋、－ で "XP"、"LP" または "SLP" を選び、[▶ OK] で決定する

（お買い上げ時は "XP"）

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。



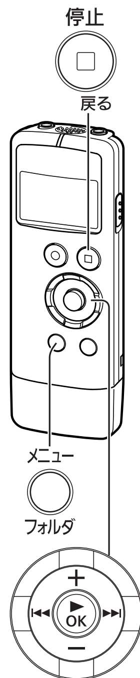
選択した音質が表示されます。

● 音質に応じて録音時間（P38）が変わります。

	高音質 ← → 長時間		
音質（録音モード）	XP MP3 192 kbps	LP MP3 96 kbps	SLP MP3 32 kbps

● 内蔵モノラルマイクで録音するとモノラル録音になります。

● 外部マイク（P26）や他機器（P27）を接続して録音する場合、音質を "XP/LP" にするとステレオ録音になります。情報表示には "STEREO" と表示されます。（P11）
音質を "SLP" にするとモノラル録音になります。この場合、情報表示には表示されません。



マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を"LO"(低)に、音量が小さい場合は感度を"HI"(高)に設定します。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ **[メニュー / フォルダ] を押す**

❷ **⏮、⏭ で " マイク " を選び、[▶ OK] で決定する**

❸ **＋、ー で "HI" または "LO" を選び、[▶ OK] で決定する**

HI: マイク感度を高感度に設定します。
LO: マイク感度を低感度に設定します。
(お買い上げ時は "HI")

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

録音中の低域ノイズを抑える

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させせます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したいときに効果的です。(Low Cut フィルタ)

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ **[メニュー / フォルダ] を押す**

❷ **⏮、⏭ で "L.CUT" を選び、[▶ OK] で決定する**

OFF
L.CUT

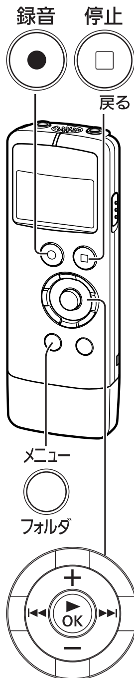
❸ **＋、ー で "On" を選び、[▶ OK] で決定する**

(お買い上げ時は "OFF")

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

● Low Cut フィルタを使うと低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）



VOS（Voice Operation System）を設定すると、録音中に無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感知すると再び録音を開始します。

• 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る］を押す。

❶ [メニュー / フォルダ］を押す

❷ ⏮、⏭ で“VOS”を選び、[▶ OK］で決定する

❸ ＋、ー で“On”を選び、[▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。



“VOS”が表示されます。

VOS 録音を開始するには［● 録音］を押す。

VOS 録音中に無音状態が約 2 秒間続くと、録音を一時停止し、録音ランプ、“VOS”、“●”が点滅します。

VOS 動作レベルの調整：

VOS 録音中に⏮、⏭ を押します。

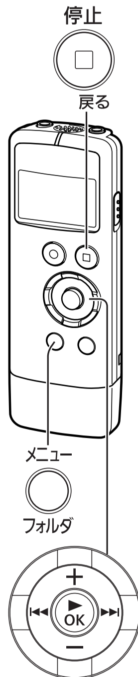
（お買い上げ時は“LEVEL 3”）



● 1 ～ 5 段階で調整できます。
● 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

● 大切な録音をするときは、VOS 設定を“OFF”に設定してください。
● Low Cut フィルタを使うと低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを解除してください。（P15）
● VOS 録音の一時停止中に［● 録音］を押すと、通常の録音一時停止になり“VOS”のみ点灯になります。

指定した時刻に録音する（タイマー録音）



・停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / フォルダ] を押す

❷ ⏮、⏭ で "⊖" を選び、[▶ OK] で決定する

❸ ＋、－ で録音時間を選び、⏭ を押す

1h： 1 時間
2h： 2 時間
ALL：録音残り時間いっぱいまで
OFF：タイマー設定を無効にする
（お買い上げ時は "OFF"）

❹ ＋、－ で録音を開始する時間の「時」を指定し、⏭ を押す



❺ ＋、－ で録音を開始する「分」を指定し、[▶ OK] で決定する



設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

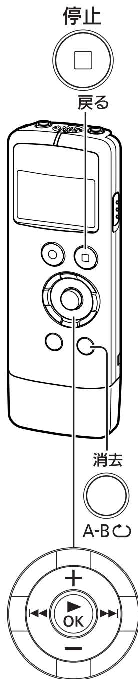
- タイマー予約設定後は "⊖" が表示されます。タイマー予約で "OFF" を選択した場合、"⊖" は表示されません。
- 予約時刻の約 1 分前になると録音ランプ、"●"、"⊖" が点滅し、スタンバイ状態になります。
- タイマー録音実行中は "⊖" が点滅します。
- タイマー録音実行中やスタンバイ中に [■ 停止 / 戻る] を押すと、実行を中止できます。実行を中止した場合は、タイマー予約が "OFF" になります。

● 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し、終了時刻に電源が切れます。再生中の場合は再生を停止し、タイマー録音を実行します。

● タイマー録音中は、以下のボタン操作ができます。ホールド中の場合は、ホールドを解除してから操作してください。
ボタン操作：[メニュー / フォルダ]、[■ 停止 / 戻る]、＋ / －（音量）、
VOS 設定時のみ ⏮ / ⏭ (P16)

● 電池交換すると、タイマー設定が無効になりますので、設定し直してください。

● タイマー予約の実行は 1 回だけです。毎日同じ時刻に実行させたい場合は、その都度設定が必要です。

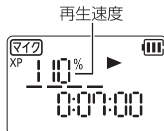


再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

❶ **再生中に［▶ OK］を押す**

❷ **⏮、⏭ を押して再生速度を調整する**



- ⏭：押すたびに再生速度が速くなります。
- ⏮：押すたびに再生速度が遅くなります。

1 倍速（100%）よりも速い場合は 10%ずつ、1 倍速（100%）よりも遅い場合は 5%ずつ、再生速度を調整できます。

- ［■ 停止 / 戻る］を押すと 1 倍速（100%）に戻ります。

❸ **［▶ OK］を押す**

設定値が確定します。

● ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。

● 再生速度を変更すると、音質効果は働きません。（P21、22）

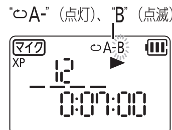
A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

- シャドーイング再生は解除する。
  （P19 の手順 ❶ ～ ❸ で“OFF”を選択）

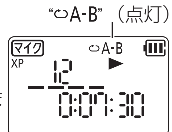
❶ **再生中に［消去 / A-B⭮］を押す**

始点（A）が設定されます。



❷ **終点（B）で［消去 / A-B⭮］を押す**

A-B リピート再生が始まります。



A-B リピート再生を解除する：

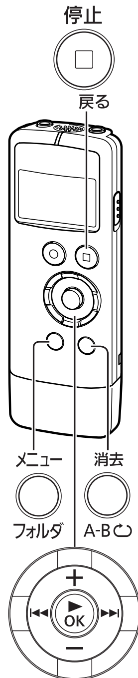
もう一度［消去 / A-B⭮］を押します。
（［■ 停止 / 戻る］または ⏮、⏭ でも解除できます。）

● 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート再生できません。

● 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピート再生が開始されます。

● ファイルをまたいでのA-Bリピート再生はできません。

シャドーイング再生

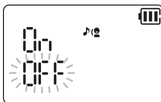


シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング再生を使うと、A-B リピート区間を通常音量と無音で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。

・停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / フォルダ] を押す

❷ ⏮、⏭ で "♪" を選び、[▶ OK] で決定する



❸ ＋、ー で "On" を選び、[▶ OK] で決定する

シャドーイング再生が ON になります。（お買い上げ時は "OFF"）

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

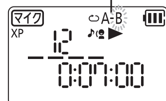
❹ シャドーイング再生させたいファイルを選び (P9、11)、[▶ OK] を押す



❺ [消去 / A-B] を押す

始点（A）が設定されます。

"A-"（点灯）、"B"（点滅）

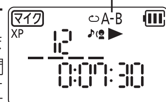


❻ 終点（B）で [消去 / A-B] を押す

シャドーイング再生が始まります。A-B リピート区間を通常音量と無音で、交互に繰り返し再生します。

A-B リピート再生中は、"♪" が点灯し、無音再生中は点滅します。

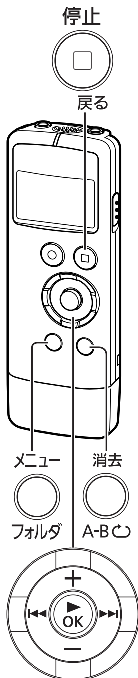
"A-B"（点灯）



シャドーイング再生を解除する：

もう一度 [消去 / A-B] を押します。
（[■ 停止 / 戻る] または ⏮、⏭ でも解除できます。）

- 始点（A）と終点（B）の間が約２秒以下の場合、シャドーイング再生できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）としてシャドーイング再生が開始されます。
- ファイルをまたいでのシャドーイング再生はできません。



位置を指定して再生（時間指定サーチ）

時間指定した位置から再生することができます。

❶ 再生中に[メニュー / フォルダ]を押す

再生が停止し、現在の再生位置（時間）が表示されます。

❷ 再生開始位置を設定する



⏮、⏭ で時、分、秒を選び、＋、－ で数値を変更します。

・［メニュー / フォルダ］または［■ 停止 / 戻る］を押すと、停止状態になります。

❸ [▶ OK］を押す

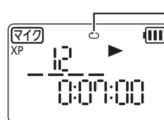
指定した位置から再生されます。

設定画面を途中で閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生（リピート設定）

❶ 再生中または停止中に［消去 / A-B］を約 2 秒以上押したままにする



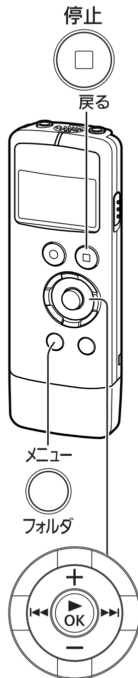
リピートモード
［消去 / A-B］を約 2 秒以上押すごとに切り替わります。

表示無し ：（お買い上げ時） 1 つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまで再生して停止します。

1 ：1 つのファイルを繰り返して再生します。

：1 つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
“音楽”フォルダのサブフォルダー（P32）の場合は、サブフォルダー内の全ファイルを繰り返し再生します。

音質効果を使う



本機には再生音に音質効果を与える機能があります。音質効果には、ノイズ軽減、音声レベル自動調整、コーラス再生、イコライザーがあります。
音質効果は 1 つだけ選択できます。どれかの音質効果を設定すると、それ以外の音質効果は無効になります。

再生中のノイズを軽減する（ノイズキャンセル）

再生中のノイズを軽減し、目的の音を聞き取りやすくします。音声はモノラルで再生されます。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る］を押す。
- “マイク” フォルダを選択しておく。（P9）

❶ [メニュー / フォルダ］を押す

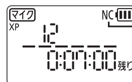
❷ ⏮、⏭ で “NC” “EQ EFFECT” を選び、[▶ OK］で決定する

❸ ＋、－ で “NC” を選び、[▶ OK］で決定する

❹ ＋、－ で “HI” または “LO” を選び、[▶ OK］で決定する

LO NC： 弱めにノイズを軽減します。
HI NC： 強めにノイズを軽減します。
（NC：Noise Cancel）

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。



“NC” が表示されます。

自動で音声レベルを調整する（音声レベル自動調整）

再生中、小さな音と大きな音の差が大きく、小さな音が聞き取りにくい場合に、音声レベルを聞き取りやすく調整します。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る］を押す。
- “マイク” フォルダを選択しておく。（P9）

❶ [メニュー / フォルダ］を押す

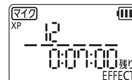
❷ ⏮、⏭ で “NC” “EQ EFFECT” を選び、[▶ OK］で決定する

❸ ＋、－ で “SLC” を選び、[▶ OK］で決定する

❹ ＋、－ で “HI” または “LO” を選び、[▶ OK］で決定する

LO SLC：弱めに音量調整を行います。
HI SLC：強めに音量調整を行います。
（SLC：automatic Sound Level Control）

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。



“EFFECT” が表示されます。

音に広がりを与える（コーラス再生）

モノラル音声の再生に広がりと厚みを与えます。
コーラス再生機能を使うと音声はステレオで再生されます。

- 停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。
- “マイク”フォルダを選択しておく。（P9）

❶［メニュー / フォルダ］を押す

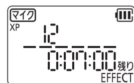
❷ ⏮、⏭ で“NC”“EQ EFFECT”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－ で“CHORUS”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－ で“HI”または“LO”を選び、［▶ OK］で決定する

LO CHORUS：弱めの音の広がりにします。
HI CHORUS：強めの音の広がりにします。

設定画面を閉じるには［■ 停止 / 戻る］を押す。



“EFFECT”が表示されます。

イコライザーを使う（サウンド EQ）

音声の周波数特性（低 / 中 / 高音域の音量レベル）を変更して音質を変更します。

- 停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

❶［メニュー / フォルダ］を押す

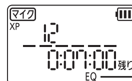
❷ ⏮、⏭ で“NC”“EQ EFFECT”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－ で“EQ”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－ で種類を選び、［▶ OK］で決定する

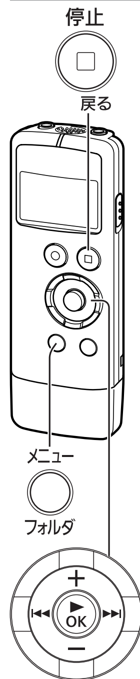
EQ BASS：低音域を強調します。
EQ CLEAR：高音域をより強調します。
EQ HEAVY：低音域と高音域をやや強調します。
EQ SOFT：中音域を強調します。
EQ VOICE：雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。

設定画面を閉じるには［■ 停止 / 戻る］を押す。



“EQ”が表示されます。

- お買い上げ時は“OFF”が選択されています。音質効果は働きません。
  音質効果を解除するには、P21、22 の手順 ❶～❸ で“OFF”を選択します。
- 再生速度を変更（P18）すると、音質効果は働きません。
- ノイズキャンセル、音声レベル自動調整、コーラス再生機能は、“音楽”フォルダのファイルには働きません。
- コーラス再生機能は、外部ステレオマイクなどで録音したステレオ音声には働きません。

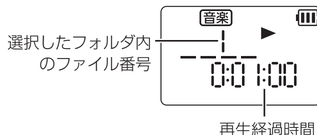


・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。(P30)

“音楽”フォルダからファイルを選ぶ：

フォルダ選択の方法（P9）とファイル選択の方法（P11）をご覧ください。
サブフォルダーを選択するには、「フォルダ頭出し機能」（P24）をご覧ください。

❶ ファイルを選び、[▶ OK] を押す



再生操作については、「再生する」（P11）をご覧ください。

● “音楽”フォルダでは、1つのフォルダにつき199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダー（P32）を作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

● MP3 音楽ファイルが再生できます。
● 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。

・MP3：MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種

● “音楽”フォルダ内の再生順序は下記のとおりです。
① “MUSIC”フォルダーの直下のファイル
② “MUSIC”フォルダーのサブフォルダー内のファイル
-フォルダーが複数存在する場合は、パソコンから本機へ転送した順に再生されます。
-複数のファイルを一度に転送する場合は、パソコンが決めた転送順で再生されます。
-ファイル名の先頭に数字を付けることで、各フォルダー内で、ファイルをお好みの順序に再生させることができます。(P31)

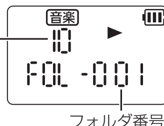
本機で音楽を聴く（続き）

フォルダ頭出し機能

“音楽”フォルダ内の複数のサブフォルダーを切り替えて先頭の曲の頭出しができます。

❶再生中に［メニュー / フォルダ］を約 1 秒以上押したままにする

“FOL”が表示されます。



❷“FOL”表示中に、⏮、⏭ を押す

- 前、または次のフォルダの1曲目を頭出しします。
- “FOL”表示中は、再生速度変更や早送り / 早戻しができません。

フォルダ頭出しを解除する：

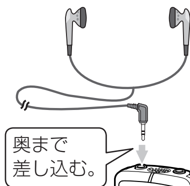
下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。

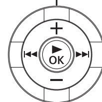
- もう一度、［メニュー / フォルダ］を約 1 秒以上押したままにする
- ［▶ OK］を押す
- ［■ 停止 / 戻る］を押す（再生が終了します。）

● フォルダ頭出しは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。
例）111 ファイルずつ入ったフォルダを複数保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。

インサイドホンで音声を聴く

インサイドホン（市販）を接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ、
インサイドホン推奨インピーダンス 16 Ω）





録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聴くことができます。

音量を調整する：

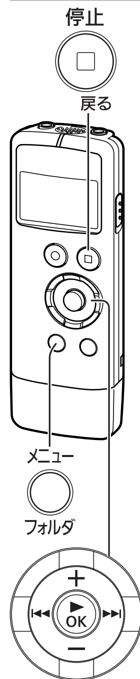
＋、－ を押すと音量を調整できますが、録音される音声には影響しません。

再生中の音声を聴く

再生中の音声は、内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聴きください。

● インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

ファイルを分割する



1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。必要部分の抜き出しや不要部分のカットができます。

❶ **再生中にファイルを分割したい位置で［■ 停止 / 戻る］を押す**

❷ **［メニュー / フォルダ］を押す**

❸ **⏮、⏭ で“dIV”を選び、［▶ OK］で決定する**



❹ **＋、－ で“YES”を選び、［▶ OK］で決定する**

分割中は動作表示ランプが点滅します。
その後 2 つのファイルに分割され、2 つ目のファイルの先頭位置で停止します。

- “OK”と表示されたら、ファイル分割の完了です。
- “NO”を選ぶと分割を中止します。設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押します。

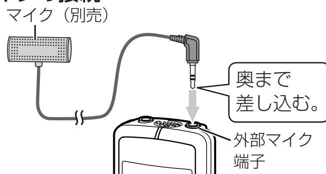
- “音楽”フォルダ内のファイルは分割できません。
- ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、パソコンなどにファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- 録音残り時間がない場合や、すでに 199 ファイル録音されている場合は、ファイル分割できません。
- ファイル分割後のパソコン上でのファイル名については、「ファイル名について」（P31）の「ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更」をご覧ください。

外部マイクを接続して録音する

本機の外部マイク端子に外部マイクを接続して録音します。
ステレオマイクを使うと音声はステレオで録音されます。（音質を“SLP”にした場合を除きます。）
モノラルマイクでは、L チャンネル側の音声のみ録音されます。

❶ 外部マイクを接続する

外部マイクの接続：



プラグインパワーで φ 3.5 mm ミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC201）

テレホン用マイクの接続：

①テレホン用マイクのプラグを本機の外部マイク端子に接続する
②テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③電話をする



テレホン用マイク（別売）（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

❷ [● 録音] を押す

録音操作については、「録音する」（P10）をご覧ください。

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P15）
- 外部マイク端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
- 別売品の品番は、2012 年 12 月現在の品番です。

別売品（P26、27、29）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

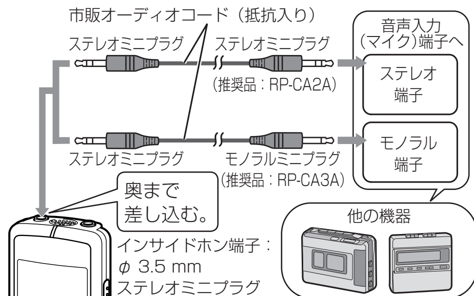
CLUB Panasonic
Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/


携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

他機器と接続する

本機から他機器へ録音する（ダビングする）：

❶ 下記のように接続する



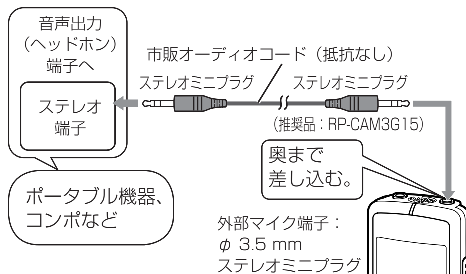
❷ 録音する

①録音機器の録音を開始する
②ダビングしたいファイルを本機で再生する（P11）

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
- 別売品の品番は、2012 年 12 月現在の品番です。

他機器から本機へ録音する：

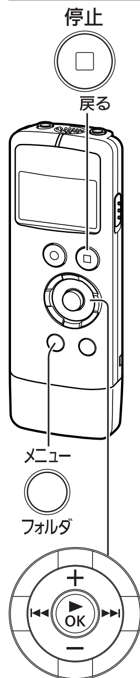
❶ 下記のように接続する



❷ 録音する

①本機で録音を開始する（P10）
②他機器を再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 音源の音量が小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。(P15)
  または、他機器の音量を調整してください。
- 別売品の品番は、2012 年 12 月現在の品番です。



録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の操作のしかた

・停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / フォルダ] を押す

❷ ⏮、⏭ で設定項目（"操作音" または "LEd"）を選び、[▶ OK] で決定する

・点滅している項目が、現在選んでいる設定です。

❸ ＋、ー で設定を変更し、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [■ 停止 / 戻る] を押す。

操作音（音声ガイド）

ボタン操作時の操作音を設定します。

OFF：鳴らさない

On： ピッという音を鳴らす

VOICE：音声ガイドとピッという音を鳴らす

（お買い上げ時は "VOICE"）

● "On" または "VOICE" に設定しても録音中や録音一時停止中は、操作音を鳴らしません。

LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。

OFF：点灯させない

On： 点灯させる

（お買い上げ時は "On"）

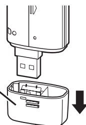
● "OFF" に設定してもファイル消去時などは点滅します。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンを接続し、内蔵メモリーとパソコンとの間でファイルの移動やコピーをすることができます。
動作環境については、「パソコンの動作環境」(P32)をご覧ください。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

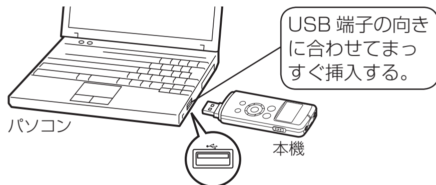
❶ USB 端子ふたを取り外す



取り外した USB 端子ふたは保管しておいてください

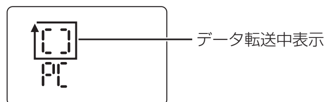
● USB 端子ふたは、誤って飲み込まないように乳幼児の手の届くところに置かないでください。

❷ 本機をパソコンに差し込む



■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン(Windows 7:[ ])をクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません。)
取り外したあとは、自動的に本機の電源が切れます。
パソコン接続中は、本機の操作はできません。
データ転送中は、絶対に本機を抜かないでください。



● USB 端子の状態によってパソコンに接続しにくい場合は、USB 延長ケーブル(別売)(推奨品:RP-CUMB20)をご使用ください。
● 別売品の品番は、2012 年 12 月現在の品番です。
● 次の場合は、動作を保証しません。
- 1台のパソコンに2台以上の USB 機器を接続している場合(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)
- USB ハブを使用している場合
- 別売の RP-CUMB20 以外の USB 延長ケーブルを使用している場合

ファイルをパソコンに取り込む / 整理する

表示は Windows 7（OS）の場合です。

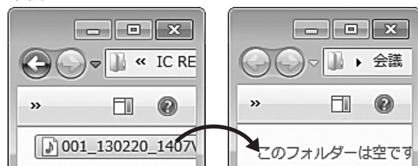
・本機をパソコンに接続しておく。（P29）

1. パソコン側の“コンピューター”を開く

本機の内蔵メモリーが下記の名前で表示されます。
内蔵メモリー：IC RECORDER

2. 内蔵メモリーを開き、フォルダーやファイルをパソコンにコピーまたは移動する

本機のフォルダー　パソコンのフォルダー



● **パソコンで、本機をフォーマットしないでください。**
● “マイク、音楽”フォルダは、パソコンでは“MIC、MUSIC”フォルダーと表示されます。
● “DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダーです。本機の画面には表示されません。

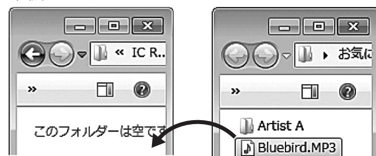
本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。
本機で再生できる音楽ファイルは MP3 ファイルです。

・本機をパソコンに接続しておく。（P29）

1. “MUSIC”フォルダーに、パソコンのフォルダーやファイルをコピーまたは移動する

本機のフォルダー　パソコンのフォルダー



本機では、1つのフォルダーにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダーを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

● データ転送中は、**絶対に本機を取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
● “MUSIC”フォルダーの中にサブフォルダーを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダー構造については、「本機のフォルダー構造」（P32）をご覧ください。
● 音楽ファイルは、“MIC”フォルダーに転送しても再生できません。
● 内蔵メモリーの直下に転送したファイルは再生できません。“MUSIC”フォルダーに転送してください。

ファイル名について

本機で録音したファイル名の付きかた：

例：2013年2月20日17時20分/"マイク"フォルダ/MP3 録音の場合

001_130220_1720V0.MP3

"_"（半角）

① ファイル番号（001 ～ 199）
② 録音日付（半角数字 6 文字）
③ 録音時刻（半角数字 4 文字）
④ フォルダ名："マイク"フォルダ
⑤ キーワード番号（本機では 0）
⑥ 拡張子（MP3：MP3 ファイル）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では"1"などの番号で表示されます。

ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを消去や分割すると、ファイルが前詰めされたり後ろにずれたりし、ファイル番号は自動的に再割り当てされます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻す：

ファイル名をパソコンで変更すると、"MUSIC"フォルダーに入っていないファイルは再生できなくなります。
上記のファイル名の付きかたに従った名前に変更するか、"MUSIC"フォルダーに入れて再生してください。
ただし、ファイル消去などでファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複すると本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、"MUSIC"フォルダーに戻して再生することをおすすめします。（P30）

"MUSIC"フォルダー内のファイル名と再生順序：

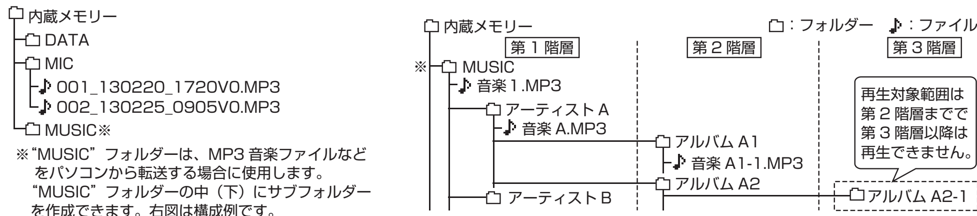
"MUSIC"フォルダーではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は 3 桁まで判別することができます。1、01、001 のように付けかたが違う場合、001 ～ 999 が最も優先され、次に 01 ～ 99 で、その次が 1 ～ 9 となります。001 音楽 A.MP3、002 音楽 B.MP3 のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。
"MUSIC"フォルダーへのファイル転送については「本機に音楽ファイルを転送する」（P30）を、再生については「本機で音楽を聴く」（P23）をご覧ください。

フォルダー名を変更しないでください

パソコンでフォルダー名 "MIC、MUSIC" を変更すると、本機の電源を入れた時点で、新たに "MIC、MUSIC" フォルダーが生成されます。

- 名前を変更したフォルダー内のファイルは、再生できなくなります。名前を変更したフォルダー内のファイルを再生するには、"MUSIC"フォルダーに転送してください。
- 録音した場合は、新たに生成された"MIC"フォルダーにファイルが保存されます。ファイル番号(左記)は 001 から開始します。

本機のフォルダー構造



パソコンの動作環境

（2012 年 12 月現在）

対応パソコン		IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応OS		プリインストールされた各日本語版 ・Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2、3 ・Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1、2 ・Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および Service Pack 1 ・Microsoft® Windows® 8/Pro
		・Mac OS X 10.2.8 − 10.8
インターフェース		USB 端子（USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。）

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	・MP3 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、“MUSIC”フォルダーに転送する（P30）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
マンガン電池は使えますか？	・マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
199 FULL（音声：ファイルがいっぱいです）	・録音可能ファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P9）
ALL FULL（音声：メモリがいっぱいです）	・録音残り時間がないときに録音しようとした場合に表示されます。
NO FILE（音声：ファイルがありません）	・フォルダ内にファイルがないときに再生しようとした場合に表示されます。
Lo bAT（音声：電池を交換してください）	・新しい電池と交換してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	本機が動作しない	・電池が外れていませんか？一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または、新しい電池に交換してください。 ・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P7） ・パソコン接続時は本機では操作できません。
	操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P7） ・パソコン接続時は本機では操作できません。
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	・音質によって録音時間は大きく変わります。（P38）ご使用の目的に応じて音質を選んでください。（P14） ・データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。（P12）
	録音が勝手に一時停止する	・VOS が働いていませんか（P16）
	録音時にインサイドホン（市販）で音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。（P11、24） ・インサイドホンと本機を離してください。（P24） ・外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	・録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 ・メモリーを使い切っていませんか？
	録音できない	・録音残り時間はありますか？（P11） ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。
	録音時に“ERROR”が表示される	・メモリーの書き込みが遅くなっている可能性があります。ファイルをパソコンにバックアップし、本機をフォーマットしてください。(P12)

こんなときは		ここをご確認ください
録音	録音したファイルに音とびが発生する	• パソコンで本機をフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P12） • VOS が働いていませんか？（P16）
	録音した音声にガサガサと雑音が入る	• 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中は、できるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度（P15）を下げるか、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ（P15）を使って録音してください。
	録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 • Low Cut フィルタを使うと、雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。（P15） • 音質（P14）やマイク感度（P15）を切り替えて試し録りしながら、最適な録音設定にしてください。
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	• マイク感度を切り替えてみてください。（P15）
	タイマー録音ができない	• 録音残り時間はありますか？（P11） • フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。 • 本機がパソコンに接続されている場合は、動作しません。パソコンから取り外してください。（P29） • タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。

こんなときは		ここをご確認ください
再生	スピーカーから音が出ない	・インサイドホン（市販）を接続していませんか？（P24）
	音声が聞こえない	・音量を調整してください。（P11）
	“マイク”フォルダ内のファイルが再生できない	・ファイル名が変更されていませんか？“マイク”フォルダ内では「本機で録音したファイル名の付きかた」(P31) に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。パソコンで“MUSIC”フォルダーに転送すると再生できます。（P30） ・転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、“MIC”フォルダーに入れても再生できません。“MUSIC”フォルダーに転送してください。（P30）
	“音楽”フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	・本機では MP3 ファイルを再生できます。WMA、AAC など、その他のファイルは再生できません。 ・“音楽”フォルダの再生対象範囲は、「本機のフォルダー構造」（P32）をご覧ください。 ・“音楽”フォルダでは、１つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダーを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。
	再生速度が速かったり、遅かったりする	・再生速度を変更していませんか？（P18）
	インサイドホン（市販）から音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
	選択ファイルが勝手に変わる	・パソコンに接続して本機のファイルを削除すると、本機での選択ファイルが変わる場合があります。
	A-B リピート再生すると、無音が再生される	・シャドーイング再生を使っていませんか？（P19）

こんなときは		ここをご確認ください
再生	フォルダ頭出しが働かない	・“音楽”フォルダのフォルダ頭出しは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。(P24) 例)111 ファイルずつ入ったフォルダを複数保存した場合、 フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。
その他	電源が入らない	・電池が消耗していませんか?新しい乾電池と交換してください。(P6)
	電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能(停止状態で 30 分間操作しないと自動的に電源が切れる機能)が働いていませんか?(P7)
	消去時に“ERROR”が表示される	・ファイル属性「読み取り専用」のファイルを消去しようとしています。パソコンに接続し、パソコンで削除してください。(P29)
	ファイル、フォルダが消去できない	・パソコンから転送した MP3 音楽ファイルが読み取り専用の場合や“MUSIC”フォルダー内にサブフォルダーを作成した場合、本機では消去できません。パソコンで削除してください。(P29)
	ファイル分割ができない “ERROR”が表示される	・ファイルを分割したい位置まで再生後、[■ 停止 / 戻る] を押してから、分割してください。(P25) ・録音残り時間はありますか?(P11) ・フォルダ内に録音可能ファイル数(199)が録音されていませんか? 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイルの録音時間が短すぎませんか?ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。(P29) ・パソコンから本機を外し、再接続してください。 ・パソコンの OS が非対応ではありませんか?(P32)
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。(P8)

仕様

電源	乾電池	DC 1.5 V (単4形アルカリ乾電池×1本使用)

音声	録音 / 再生ビットレート (XP、LP、SLP は音質) ([ ] は外部マイク端子入力)	XP :MP3 192 kbps モノラル［ステレオ］ LP :MP3 96 kbps モノラル［ステレオ］ SLP :MP3 32 kbps モノラル［モノラル］
	サンプリング周波数 ([ ] 内は音質)	44.1 kHz [XP :MP3 192 kbps] 44.1 kHz [LP :MP3 96 kbps] 16 kHz [SLP :MP3 32 kbps]
	録音方式	MP3
	再生可能ビットレート (音楽フォルダ)	16 kbps ～ 320 kbps (MP3)
	再生可能サンプリング周波数 (音楽フォルダ)	8 kHz ～ 48 kHz (MP3)
	周波数特性 (－10 dB、録音 / 再生、外部マイク端子) ([ ] 内は音質)	60 Hz ～ 19,000 Hz [XP : MP3 192 kbps] 60 Hz ～ 15,000 Hz [LP : MP3 96 kbps] 60 Hz ～ 5,400 Hz [SLP : MP3 32 kbps]
	内蔵マイク S/N 比 ([ ] 内は音質)	45 dB [XP : MP3 192 kbps] フィルター (JIS A)

USB		USB2.0 (Hi-Speed)
音声出力	インサイドホン端子	ϕ 3.5 mm、インサイドホン推奨インピーダンス 16 Ω、3.6 mW + 3.6 mW (JEITA)
	スピーカー出力	ϕ 20 mm、8 Ω、80 mW (JEITA)
音声入力	外部マイク端子	ϕ 3.5 mm ステレオ、2.2 mV、プラグインパワー対応

最大外形寸法	37.5 (W) mm × 107.8 (H) mm × 15.7 (D) mm
本体寸法	37 (W) mm × 107.5 (H) mm × 15 (D) mm
質量	約 50 g (乾電池を含む) / 約 39 g (乾電池を含まず)
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20% RH ～ 80% RH (結露なきこと)

記録容量 (メモリー容量)	2 GB※

※ 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

録音時間の目安

(使用条件によっては短くなる場合があります。)

音質	録音時間
XP :MP3 192 kbps	約 22 時間
LP :MP3 96 kbps	約 44 時間
SLP :MP3 32 kbps	約 133 時間

電池持続時間※1
（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	音質	内蔵モノラルマイク※2
録音時	XP ：MP3 192 kbps	約 26 時間
	LP ：MP3 96 kbps	約 27 時間
	SLP：MP3 32 kbps	約 34 時間

	音質	内蔵スピーカー※3	インサイドホン※4、※5
再生時	XP ：MP3 192 kbps	約 12 時間	約 22 時間
	LP ：MP3 96 kbps	約 12 時間	約 22 時間
	SLP：MP3 32 kbps	約 14 時間	約 26 時間

※1 パナソニック単4形アルカリ乾電池を使用
※2 録音モニターなし、録音ランプ OFF
※3 音量 11、音質効果 OFF、再生速度1倍速（100%）、当社試験法による測定です。
※4 音量 14、音質効果 OFF、再生速度 1 倍速（100%）、JEITA 規格による測定です。
※5 インサイドホン（市販：推奨インピーダンス 16 Ω）の再生時間は目安です。

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

● Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
● MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
● IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
● Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
● その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り､そのあと､乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホン（市販）を本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  本機の傷付きや破損につながります。
  インサイドホン（市販）と本機は、別々にして収納してください。
- **本機に､雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。



異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、電池を取り出す
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●電源を切り、販売店にご相談ください。

安全上のご注意（続き）



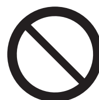


電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

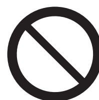
●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



単４形電池や USB 端子ふたは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

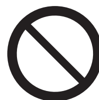


内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。



乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

 警告



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、インサイドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。


分解禁止

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。



使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。



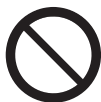


異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。

火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。



インサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　　　）　　　　－
お買い上げ日　　　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P33 ～ 37）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	IC レコーダー
● 品　番	RR-US310
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6 年
当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル  **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 #」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…………………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル  **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1112

さくいん

ご愛用者登録について

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯



※このサービスは WEB 限定のサービスです。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
   (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   (ト) 本書のご添付がない場合
   (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RR-US310	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	ご住所	
	お名前 様	
	電話 （ ） －	
※販売店	住所・販売店名	
	電話 （ ） －	

見本

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。